



處世の道も長せんと欲し書冊の必要を知る人の是より以下に掲載する廣告を見よ書冊の世に裨益する尤も信切なる好友なり處世の道も長せんと欲し書冊の必要を知る人の以下に掲載する廣告を見よ!

岡本可亭編纂

女

寶

全壹冊 正價金四拾錢

本書の女子一代之教育技藝音樂修身等網羅して余す所なく女子處世之要典なり
 輓近文化之風潮は隨ひ世は教育を頌揚する者の尤も女子の教育は注意する所なり
 女子其人の教育如何の其兒子は波及し清淨無垢の幼童をして或は賢たらしめ
 或は愚たらしむ是れ女子教育の忽かせよすべからざる所以なり苟も尊長の慈母
 たらん者の一續の勞をおしむ勿れ

涙香小史譯述

指

環

全一冊 正價金二十錢

嗚々として美人の軟手は輝ける者の指環なり美人能く指環を以て艶男を迷はし
艶男之を以て美婦を誘ふ嗚呼指環の月下氷人なり本書に至ては即ち然らず此可
愛的なる指環を以て思ひべく怖るべき盜賊の規約を結び世人の耳目を暗ませし
犯罪の始末を書綴りし者にして原著始て佛京巴里まで發賣せし時喝采を博せし
事他は比類なく遂は傑作の中を算へられたる小説なり頃日涙香小史之を譯して
都新聞に掲載し世評高かりしを今度一冊子と爲したる者なれば其面白き事の繁
瑣の贅言を待たず諸君既し知り給はん

懷中義太夫

續倭文範合本

全壹冊 正價金拾四錢

卷中目錄

- 伊賀越岡崎の段 ●彦山六助内の段 ●桂川帯屋の段 ●忠臣藏六段目 ●日吉丸三
の切の段 ●累土橋の段 ●加々見山草履打の段 ●忠臣藏七段目 ●朝顔濱松の段 ●
菅原車曳の段 ●廿四孝勘助住家の段 ●矢口八郎物語の段 ●覺仇討餞別の段 ●守
護城正清本城の段 ●盛衰記源太勘當の段 ●累植生村の段 ●姫小松鳥物語の段 ●
彦山須磨浦の段 ●花上野志度寺の段 ●千本櫻茶見世の段 ●忠臣藏三段目 ●忠臣
藏五段目 ●伊賀越六ツ目口 ●覺仇討九の切 ●太功記本能寺合戦 ●合邦社内の段
●岸姫松朝比奈上使 ●蘆屋道滿狐別の段 ●安達宗任物語の段 ●三日太平記松下
桂 ●新葺山の段

龍頭三體類語

作文錦囊

紙數四百五十ページ ● 正價卅五錢

● 郵税八錢

所謂三體とい支那文體と本邦雅俗の兩體を云ふものにして此三體の相待て方今行ゆる所の書簡體を組成する經緯とあす編者其初學の爲め類例の少なきを思ひ且諸書を類閱するの煩を省かしめんが爲に三體對照文例を求め得るの便方を設く題して錦囊と云ひ敢て誇張の言にあらざるあり

岩本吾一君著
訂正増補

通俗男女造化機論

惣黒ス金字入正價三十錢 ● 郵税六錢
同 並 製正價二十錢 ● 郵税四錢

宋 廣信 臺山謝枋得批選
明 晉江 允我李廷機評訓
日本 仙臺 篁洲若林彰纂註
日本 磐城 馬陵井土經重校

正文章軌範評林

實價三十五錢 ● 郵税十二錢